

中央防災会議「大規模水害対策に関する専門調査会」（第5回） 議事概要について

1. 専門調査会の概要

日時：平成19年5月31日(木)10:00～12:00

場所：KKRホテル東京

出席者：秋草座長、河田副座長、石川、木津、小室、志方、杉田、田中淳、田中里沙、田村、中村、長友、林、松田、宮村、虫明各専門委員
谷本内閣府大臣政務官、増田内閣府政策統括官、丸山内閣府官房審議官、上田参事官、西川参事官、上杉参事官、篠原参事官、池内参事官 他

2. 議事概要

「大規模災害に対する消防庁の取組」について、総務省消防庁より説明。

「既往の大規模水害時における課題の抽出」、「大規模水害時の浸水想定」について事務局より説明を行った後、各委員にご議論いただいた。委員からの主な意見等は以下のとおり。

(主な意見)

資機材については、のこぎりやジャッキ等雑用品的なものの購入・補充に苦勞する場合があるので、水害対応のために必要なこのような資機材の確保についても留意する必要がある。各地の部隊が集まって災害対応を行う際には、装備の仕様の違い等により円滑な操作ができないといったことも生じる。装備の標準化が重要。

広域的な災害対応の場合には、他の地域から派遣された要員が地理不案内等の理由で適切な対応ができない場合もあるので、平素から訓練等を行うことが重要。

昨年千島列島での地震の際に避難をしなかった理由の中には、身体的な制約や車が無い等の理由で避難をしたくてもできなかったケースも含まれており、行政が対応を考える上ではこのような「避難できない層」に注目すべきである。

東海水害時のアンケートにおいては、住民が欲しかった情報のうち、入手できたものとできなかったものが挙げられている。「自分の家の場所はどうなるのか」といった「住民が必要としたが入手できなかった情報」についても整理することが重要。

過去の水害での死因として、「自らの意志と関わりなく洪水に巻き込まれたケース」というのがあがるが、この中には避難中に被災したケースも含まれると考えられる。一方、室内で亡くなったケースは少ない。雨の中外に出る判断が良いのか考える必要がある。小中学校に避難しなければならないとの固定観念を見直すべきではないか。

携帯電話を用いた災害情報の一斉配信についての韓国の事例が紹介されたが、我が国に

においても携帯電話の基地局単位で情報を一斉に流せるシステムの導入について発表したの
で、今後、紹介したい。なお、その実運用にあたっては、コンテンツ、表示方法、対応端末等
についても検討することが必要。

足立区の区外、都外への避難先の検討については、八都県市で作成した広域防災プランに
基づき、具体的な避難先を含めた検討を行っている。年内には具体的な避難先を決める予
定。

避難勧告が発令されても浸水する危険がある区域を車が通行している。荒川が決壊した場
合、どのように交通を規制するのか、通過交通に対してどのように対処するのかということに
ついて検討すべき。

荒川の堤防が決壊した場合のはん濫水のコントロールを誰がどのように行うのかについては
曖昧な点があるのではないか。

東海豪雨水害時に自治体庁舎の非常用発電機が水没したが、非常用発電機だけではなく、
配電設備等も低いところに設置されていることが多い。

重要データが入っているコンピュータが浸水する危険性がある場所に置かれている役場等も
よくある。

非常用発電機の容量は大きくないため、必要な機器にのみ電力供給できるような回路形態
にしておくことが必要。

洪水を段階的に制御するスイスでの事例が紹介されたが、利根川でも中条堤等の二線堤に
よる氾濫流制御がかつて行われていた。利根川・荒川流域におけるかつての氾濫流制御の
事例も紹介して欲しい。

防災教育の取組みについては、子供に対してだけではなく、大人に対しても行う必要がある。
その場合、インターネットや携帯電話などの媒体も活用すべき。現在提供されているコンテン
ツを紹介して欲しい。

利根川左岸が決壊する場合には、浸水域が限定されることが今回明らかになった。大規模
水害の際に左岸の堤防を切ったり、左岸側の堤防の高さを右岸側より低くするといった施策
も考えられるのではないか。

氾濫した水を河道に戻すことについての検討も重要である。

古い鉄道橋の中には桁下の高さが低く、決壊箇所になる危険性が高い場所もある。

カスリーン台風の際の流量の1割増、2割増の洪水流量に関連して、洪水流量と氾濫量のボ
リュームについても評価すべき。

< 連絡・問い合わせ先 >

内閣府 地震・火山対策担当参事官 池内 幸司

同企画官 安田 吾郎

同参事官補佐 時岡 真治

TEL:03-3501-5693(直通) FAX:03-3501-5199